

はじめての『遠野物語』

7月「序文」の謎—記載された年月は誤りなのか

8月「55話」の謎—名前を伏せたのは何故か

9月「8話」の謎—実在しない地名を使った謎



講師 『柳田國男全集』編集委員 小田富英

立川教室で、私の『遠野物語』を読む講座が始まったのは、2017年9月。第Ⅰ期は、テーマ別に数話ずつ読み進め、2021年度から119話全話を順番(柳田が考えた配列順)に読む第Ⅱ期に入りました。25回かけて全話を読み終え、『遠野物語』を柳田謎解き学の原点の書であることを改めて確認しました。昨年からの第Ⅲ期は、「はじめての『遠野物語』」と題して新しい読者の方を交えて、読みの裾野を拡げてきたつもりです。そして、いよいよ皆さん一人一人が抱いた「疑問」や「謎」に挑戦する第Ⅳ期に入りたいと思います。この講座は、その入り口を示すだけの役目です。皆さんの抱いた「小さな疑問」を大切に、共に考えることで、果ての無い好奇心が誘う出口へと向かいたいと思います。初めて読む方も、『遠野物語』ファンの方も大歓迎です。お待ちしております。(講師記)

※講師紹介は裏面をご覧ください。

日時 2024/7/25, 8/22, 9/26 木曜 13:30-15:00

回数 3回 講座形態 教室・オンライン自由講座

受講料

会員 10,560円 [受講料 9,900円 / 教材費 165円 / 設備費 495円]

(入会金は5,500円。70歳以上は入会無料、証明書が必要です)

持ち物 当日資料を配布します。

1日体験 7月「序文」の謎—記載された年月は誤りなのか

日時 2024年7/25 木曜 13:30-15:00

会員 3,850円 [受講料 3,630円 / 教材費 55円 / 設備費 165円]

一般 4,950円 [受講料 4,730円 / 教材費 55円 / 設備費 165円]

<講師紹介>

東京学芸大学卒。36年間東京都公立小学校教員を勤めた後、作新学院大学特任教授を経て、現在『柳田国男全集』編集委員、日本地名研究所『地名と風土』編集長、遠野文化研究センター研究員、常民大学運営委員、全面教育学研究会会員、『遠野物語』で交流を楽しむ会（『遠野物語』交流楽会）代表など。

編著：『柳田国男全集』別巻Ⅰ「年譜」（筑摩書房）、『柳田国男自筆 原本 遠野物語』（岩波書店）共著：『柳田国男伝』（三一書房）、『口語訳 遠野物語』（河出文庫）、『犯罪の民俗学 2』（批評社）、『わいわい学級』（現代書館）、『地域に根ざす民衆文化の創造—「常民大学」の総合的研究』（藤原書店）など。論文：「初稿本『遠野物語』の問題」（『国文学』）、「柳田国男おじいさんのメッセージ」（『毎日小学生新聞』連載）、「平地人とはだれか」の三回連載（『伊那民俗研究』『遠野学』）、「『遠野物語』と遠野郷民俗誌の間」（『地名と風土』第13号）、「新渡戸稲造と柳田国男」（『新渡戸稲造の世界』第28号）、「柳田国男ゆかりの富山の土地と人」（『地名と風土』第14号）、「柳田国男年譜作成の現場から」（『日本古書通信』1101号～1103号）「柳田学と後藤民俗思想史をつなぐ」（『伊那民俗研究』第29号）、「谷川健一と後藤総一郎」（『地名と風土』第15号）、「柳田国男ゆかりの越前・若狭の土地と人」（『地名と風土』第16号）、「謎解き 原本 遠野物語」（『現代思想』第50巻第8号、2022年7月臨時増刊号）など多数。

Vimeoを使用した、教室でもオンラインでも受講できる自由選択講座です（講師はオンライン）。見逃し配信（1週間限定）はマイページにアップします。各自ご確認ください。お問合せはtc9acc2@asahiculture.comで承ります。

※ご入会の優待制度をご利用の方はお申し出ください。

※日程が変更されることがありますので、ご了承ください。

※講師の病気や受講者が一定数に達しない場合などには、講座を中止することがあります。



朝日カルチャーセンター

<立川教室>

〒190-0012 立川市曙町2-1-1ルミホ立川 9階

TEL: 042-527-6511 URL: <https://www.asahiculture.com>